

2017

厚生労働省委託

民間人材サービスの
活用検討事業
(女性の復職促進)

民間人材サービスによる 女性の復職支援等に関する取組 事例集

株式会社パワーネット



【特徴】

- ・香川県丸亀市に本社を置く人材サービス会社。「地元人材」と「地元企業」にこだわり、「働けない人ゼロ」を地域に拡大。
- ・女性に特化した人材派遣・職業紹介・教育訓練事業を展開するとともに、地元企業において女性が定着しやすく働きやすい組織づくりを支援する事業を展開。
- ・同社自体、社員全員が女性で、73%が子育て中。人材サービス業ながら両立できる企業・職場環境を作ってきた自社の経験・ノウハウを他社に伝える。「四国でいちばん大切にしたい会社大賞」受賞。

【会社概要】

- ・本社：香川県丸亀市
- ・設立：1996年1月
- ・資本金：1700万円
- ・従業員数：10名
- ・事業内容：人材派遣、人材紹介、女性の活躍推進事業、業務ソフトの導入支援、訪問指導等
- ・営業拠点：香川県丸亀市



【女性の再就職支援について】

- ・「働く時間に制約があるけれど経験を生かして働きたい」「10年後も考えて、長く働ける職場に転職したい」と考えている女性の再スタート(再就職・転職)をサポート。
- ・経験豊富なキャリアコンサルタントが時間をかけて面談を実施し、将来在りたい姿に近づけるようアドバイス。
- ・復職の入り口は派遣から。派遣から紹介を一連の流れととらえて復職・キャリアアップを支援。
- ・女性労働力を活用し、企業に「ワークシェア型派遣」の活用を提唱。

【主な支援メニュー】

- ・「正社員紹介サービス」
(派遣からスタートし、将来の正社員を採用)
- ・「ワークシェア型」派遣(時短ハケン)
- ・「おしごと相談会」「ゆるキャリア座談会」
- ・両立できる職場づくりを支援する「なでしこ組織塾」
女性リーダーを育成する「きらめき未来塾」
生産性向上研修

株式会社パワーネット

主な支援メニューの紹介

■「人材紹介サービス」

○サービス概要

- ・派遣からスタートし、将来の社員を採用できる。未来のなりたい自分に向かって頑張る人材を発掘し、求人企業へ提案するもの。
- 対応職種：一般事務、営業事務、経理、総務、人事、データ入力、営業アシスタント、英文事務、ホームページ更新など

○ねらい

- ・まずは派遣で仕事の適性や企業側と働く側の相性を確認し、双方が合意すれば直接雇用に移り替える。職場環境に慣れてから社員になるため、双方のギャップが少なく定着率を高められる。

■「ワークシェア型」派遣(時短ハケン)

○サービス概要

- ・正社員がコア業務に集中でき、コスト削減にもなるとして、ノンコア業務を切り出し、パート(時短ハケン)に任せることを提案するもの。

○ねらい

- ・「しゅふ」は、時間内に終わらせる「段取り力」、複数の業務を「同時並行して行う力」、分類して「収納・整理整頓する力」がある。そうしたスキルを活用し、制約のある時間の中でも最大限の力を発揮し働くというのが、当社が目指す働き方。

求める人材が
きっとみつかると。

人づくり組織づくりの専門家集団として、
「人と企業の幸せを創造」します。



SERVICE

成長意欲の高い人材を紹介します



導入事例 企画・営業職のワークシェア型派遣

担当業務 ▶ 新規開拓、既存顧客対応、商品企画、企画資料作成、請求書準備、営業資料準備、DM 送付

ステップ 1 担当業務のヒアリング、業務の切り分けコンサル
請求書作成、営業資料の修正、DM 送付をワークシェア派遣で代読。

ステップ 2 ワークシェア型派遣のご提案
週4日 1日5時間～ の派遣でフルタイム社員を獲得するよりもコスト削減が図れます

(出所) 同社HPより

主な支援メニューの紹介

■「おしごと相談会」について

- ・いわゆる派遣の「登録会」はなく、キャリアコンサルタントが個別に話を聞くスタイル。
- ・目の前の仕事探しだけでなく、将来どうなっていきたいかを問いかね、仕事を人生の一部ととらえ、それぞれのキャリアにつながる相談を行う。
- ・就業に向けて、スキルや職場環境など不安に感じることの解決できる場。
- ・1回あたり30～1時間程度。

■「ゆるキャリ座談会」について

- ・いまずぐ働けないけれどそのうち働きたい女性、子育てしながら働くことに不安や悩みを抱えている子育て期の女性向けに、働く先輩女性の体験談を交えて不安や悩みを語り合う「ゆるキャリ座談会」を開催。
- ・従来の紹介、派遣の登録・相談に来社する層よりも前の段階から、(将来的な)潜在的求職者層の掘り起こしを狙うもの(ブランク期間の短期化、啓発)。
- ・「幼稚園に預けている午前中しか働けないが、そうした仕事はハローワークにはなかった」と、自分で諦めている女性が多い。それでも働けるということ伝えたい。

パワーネットのおしごと相談会とは

パワーネットは、「あなた」の思いを聴くことで、あなたの「しあわせ」をともに実現する、日本一あなた思いの人財会社です。

パワーネットが大切にしている おしごと相談会への3つの思い

- 01 あなたに合った「働き方」をあなたと共に探すこと
- 02 あなたが大切にしている「生き方」をパワーネットも大切に思うこと
- 03 あなたの「しあわせ」へのステップを共に歩むこと

ゆるキャリ座談会 ～子育てしながら働くを考える～

こんな風に思っていないですか？

子どものお迎えに間に合う時間帯で働ける所はあるの？
保育所が先か、仕事先かどちらから始めればいいのか？
出産～子育てでブランクがある私…、就職活動がうまくいかず不安…
今すぐではないけれど、余裕をもって就職活動をすすみたい！



不安を解消して、再就職の
第一歩を踏み出せる♪

再就職までのSTEPが
分かるので安心♪

ゆるキャリ座談会ならいろいろ話せて、いろいろ聞ける！

子育てしながら働くことに不安や悩みを抱えていませんか？
ゆるキャリ座談会は、子育てしながら働く先輩女性の体験談を交え、子育て女性が抱える不安や悩みを一緒に語り合う場です。

(出所) 同社HPより

インタビュー調査より

■条件緩和について(求人側)

- ・30歳を過ぎて結婚する時代。子どもの手が離れ、復職希望の女性の多くは40代。かつ下の子はまだ小さい場合も多い。このためスタートは時短希望。
- ・企業の希望は「できれば30代まで」。また「40代ならフルタイムで働けるだろう」という意識。希望は聞くが、30代の人材はいない事実をはっきり伝える。そこではじめて経営者もはっと気づく。意識を変える必要を覚悟。ただ、一回では伝わらない。なかなか折れない。求人が埋まらない状態が続く、40代から人材がある状況を伝え続けることで緩和に。

【建設業A社のケース】

- ・それまでパートも短日も活用経験のない会社が、忙しくて人を入れることになった。
→ 週3日、短時間の時短ハケンを提案。
「忙しい社員の事務仕事を切り出すことで、皆さん楽になりますよ」と提案。納期のある仕事ゆえ、2人で引き継ぎ制(ワークシェア)。直属上司は女性。いったん仕事を受け取り、能力や勤務時間に合わせて仕事をふつてくれることで成功。

■条件緩和について(求職側)

- ・仕事に人を合わせるのではなく、人に仕事を合わせることが基本。業務を細分化することで、たとえば週3日でもできる業務を作り、配分する。

【Aさんのケース】

- ・「子どものため17時には帰りたい」というAさん。結婚前のサービス業の仕事を希望していたが、条件に合う求人はなく難しい状況。

→ 子育て中の働き方として、パソコンを覚えて事務の仕事に就くことを提案。課題を与え、家で練習。一定のレベルになったところで、企業に派遣した。

【Bさんのケース】

- ・「子育て期は週1、2回。時間も短く」というが、企業側では条件を呑むことが難しい状況。

→ 企業の考え方を説明し、近づける努力はできないか確認したところ、「1回増やします」「30分延ばします」に。

■その他

- ・復職は、派遣から紹介の流れが基本。派遣で働いた実績をもとに社員へというステップを踏むため、いきなり転職したときのようなギャップがない。
- ・復職女性にはサポートが必要。自信をもたせるサポーターがいれば、ブランクの長い人でも、早い人では3カ月で働く感覚を取り戻す。
- ・時短ハケンの受け入れ企業では、周りの人たちが働きぶりに影響を受ける例も。
- ・「もう1人」という企業と失敗企業の差は、指揮命令者の関わりの有無。成長に合わせて仕事を割り振り、周囲の理解醸成も。

「多様な働き方創出による女性活躍のご提案」

～人手不足の今こそ、求人対象や条件を見直すことで女性人材の活用を図りませんか？～

- 「人手不足」といわれ続ける中、フルタイムで働ける人は減る一方です。
- 一方、育児等で働ける時間に制約があるものの、通常のフルタイム従業員よりも、短い時間や日数であれば活躍できる人がいます。
- 「なかなか人材が確保できない」「思うような人を採用できない…」とお考えの皆さま。求人対象や条件を見直すことで、優秀な人材確保につなげてみませんか？
- 求人対象や条件を見直すことは、既存従業員の働き方改革や生産性向上にもつながります。

人材像

- ・家事や子育てと両立するため、短時間または短日勤務を希望
- ・時間内に仕事を終わらせ、テキパキ効率的に働きます
- ・経験豊富な人材が多数
- ・30～40 代の子育て女性中心

活用のイメージ

- ・週 3 日 10:00～16:00 勤務
- ・週 5 日 9:00～13:00 勤務
- ・月末から月初の 5 日間 9:00～17:00 勤務
- ・フルタイム 1 人の求人を、パートタイム派遣 2 人のペアで
- ・子どもが小さいうちは派遣で週 3 日、少し手が離れたら短時間正社員に転換 など

メリット 1

まだまだ優秀な人材が確保できます

通常のフルタイム勤務では働きにくいものの、働く意欲や能力のある人たちがいます。
(働いた経験があり、社会人としての基本的な行動や、前職のスキルがある人もいます。)

メリット 2

既存従業員の働き方改革につながります

たとえば定型業務を切り出して任せることで、既存従業員の働き方改革にもつながります。
時間内にテキパキ働く人材が入ることで、職場の生産性向上にもつながります。

メリット 3

コストが削減できます

週 3 日、1 日 5 時間など必要なときに必要なだけ。フルタイムを獲得するより効率的な人材活用ができます。また、今は短時間勤務や派遣でも将来の優秀な人材獲得にもつながります。

人材獲得につなげるために

✓ 求める人材について、視野を広げてみませんか。

- ・求人を出しても、企業の4割が「募集しても、応募がない」、4割が「応募段階でのミスマッチ」に直面しているとの調査があります。人材を確保するには、ミスマッチをなくし、多様な人材に応募してもらえるように、求人条件を変更・緩和することが必要です。
- ・「新卒採用」「フルタイム」「正社員」といった求人対象についての固定観念を一度取り払ってみませんか。若者は減る一方です。一方、育児等で働ける時間や日数に制約があるものの、働く意欲が高くテキパキ働く優秀な女性たちがいます。

✓ 人手が不足している業務を見つめなおしてみませんか。

- ・いまある業務のやり方を前提にした求人を見直してみませんか。業務を見直し、定型的な仕事や単純な仕事を切り出したり、軽作業と重作業を切り分けることで、フルタイムでなくても任せられる業務が見えてきます。それによって、人材獲得の可能性が広がります。また、従業員がコア業務に集中することで、生産性が向上し、残業も減って働き方改革にもつながります。

✓ 企業の成長や発展のために、女性活躍を考えてみませんか。

- ・復職を希望する女性の中には、働いた経験があり、社会人としての基本的な行動や、前職のスキルがある人もいます。女性人材の活用が、消費をリードする女性の目線に立ったサービスや商品の開発につながったという企業もあります。女性人材の活躍を図ることが、御社の成長や発展につながります。

✓ 働き手の目線に立って、人材募集や自社 PR を見直してみませんか。

- ・復職を希望する女性の多くは、週5日フルタイムでは働きにくい子育て期の 30 代～50 代が中心で、30 歳を過ぎて結婚、出産する人が多い中、子どもの手が離れるのは 40 代です。また、下の子どもがいれば仕事と子育てが両立できる働き方が大事になります。

女性人材にいっそう活躍・定着してもらうには

1. 通常のフルタイム従業員とは違う働き方、勤務日数・時間について、「こんなはずじゃなかった」ということがないように、人材サービス事業者が間に入って、企業・働き手の双方で合意することが必要です。
2. 受入企業において、人事担当者や上司だけでなく、一緒に働く職場の人たちに、通常のフルタイム従業員とは違う、短時間勤務の働き方を周知し、お互いが納得して気持ちよく働ける職場環境をつくり、維持することが大切です。人材サービス事業者が必要に応じて双方に助言し、支援することも必要です。
3. 「私でも働けるのだろうか」「迷惑をかけていないだろうか」。家庭との両立で気をつかいながら、久々の就業に不安を持つ女性人材も、受入先の上司や人材サービス事業者の担当者のサポートによって、自信をもち、生き活きと活躍することができます。